

PICK UP

議員定数のあり方の検討結果について

三島市議会では、令和3年度に議会運営委員会が実施した議会基本条例の検証結果を受けて、議員定数のあり方について検討を行いました。9月定例会において、議会運営委員長が委員長報告を行い、質疑、討論、採決の結果、議員定数については委員長報告のとおり現状維持(22名)とすることで承認されました。

委員長報告 令和4年6月から7月にかけて各派代表者会議や議会運営委員会を開催し、議員定数のあり方について、現状維持と削減のそれぞれの立場から意見を出し合い、協議・検討を行った。

それを踏まえ、市民や市内団体の皆さまにアンケートへのご協力をお願いし、さまざまなご意見をいただいた。意見聴取の結果を踏まえ、最終的に議会運営委員会において意見交換を行った。これらの結果を受け、次の一般選挙から議員定数を2名削減することについて、議会運営委員長を除く委員6名で採決を行った。賛成者は2名だったことから賛成少数により否決され、議会運営委員会としては議員定数については現状維持という結論に至った。

検討経過

時期	検討経過
令和3年6月～ 令和4年3月	議会運営委員会において三島市議会基本条例の検証
令和4年5月	各派代表者会議で検討方法について協議
令和4年5月	全議員による意見交換会を実施
令和4年6・7月	各派代表者会議・議会運営委員会で意見交換
令和4年8月	市民や市内団体の皆さまからの意見聴取
令和4年9月	議会運営委員会で採決→現状維持(22名)
令和4年9月	9月定例会最終日で議会運営委員長が報告。採決の結果、現状維持となる。

意見聴取結果▶ 委員長報告▶

表決結果

件名	結果	緑水会			改革みしま			新未来21		公明		日本共産党	無党派	無党派	無党派										
		大房正治	松田吉嗣	野村諒子	中村仁	佐野淳祥	甲斐幸博	藤江康儀	土屋利絵	大石一太郎	沈久美	石井真人	岡田美喜子	川原章寛	宮下知朗	堀江和雄	鈴木文子	村田耕一	服部正平	河野月江	杉澤正人	古長谷稔	佐藤寛文		
議員定数のあり方について(委員長報告)	承認	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

※○：賛成 ×：反対 ※議長は表決に参加しないため、表決結果は斜線になっています。

質疑 市内団体のアンケート結果からみても、議員定数を1名削減することについて、もう少し議論を深める必要性があったかと考えるが、それについて議会運営委員会でどのような意見があったのか。

答弁 委員外議員からの1名削減案については、委員の中には現状では賛同できないという意見もあったが、この1名削減案の検討の中で、削減から現状維持に考えを変えた委員がいたという経緯がある。

反対討論 市民や市内団体の皆さまへの意見聴取の結果は、市内団体の多くが削減すべきという意見であり、その意見を尊重するべきである。新聞社の調査でも議員活動が市民の皆さんに理解されない結果となっている。社会経済情勢が大きく変わる中、議員の役割と必要性、適正な議員定数の見直しが必要と考える。

要望4

農畜産業者への支援の強化
国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、6月以降に値上げされた肥料の差額分を肥料等価格高騰対策補助金として富士伊豆農業協同組合三島函南地区本部に交付し、市内の農畜産業者の経営安定を図る。

要望3

公共交通事業者への支援
②公共交通事業者への支援
国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、バス・タクシー・鉄道を運行する公共交通事業者への、報償金として支援していく。

要望2

中小企業・小規模事業者への支援
県からの協励金や応援金に乗せする形で、市内中小企業に対して事業継続支援を行っている。また、消費喚起を促すため、キャッシュレス決済ポイントバック事業を令和4年11月に実施予定。原油・物価高騰による影響が特に大きい事業者への市独自の支援策についても、前向きに検討していく。

要望1

学校給食への支援
栄養価や食材をそのままに給食を提供するため、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、予算の補正を行った。今後も、保護者負担を増額せず、献立や食材を工夫し、質のよい学校給食の提供に努めていく。

コロナ禍における物価高騰を踏まえて
議会から市に要望書を提出し、市長から回答が届きました

▼詳細は市議会ホームページをご覧ください。



土屋 利絵
(改革みしま)



誰もが住む場所を失わないフォロー体制へ
住む場所がない方を継続的にフォローしていくための伴走支援に関する方向性について市の見解を伺う。

三島の発展のカギを握る、大場地区の開発
三島市を活動拠点として本格的な準備を進めている福祉系居住支援法人を核にし、行政の福祉部門とともに、他の居住支援法人と緊密に連携していく中で、支援のネットワークの構築を図り、将来的な居住支援協議会の設立に向け調査研究を行っていく。



大場・函南インターに直結し、東名高速、国道にも便のよい大場を加えたい
三島市全体の新しい街づくりに向けての見解を伺う。

大場地区は、地形や交通条件が揃った最後のフロンティアともいえる貴重な財産である
この事業を早期に成功に導き、新たな交流の場や働く場を創出することにより、市全体が魅力あふれる都市へとさらに発展するよう全力で取り組んでいきたい。

他の質問事項
人と動物が共生できる社会をめざして

みしま市議会だよりの表紙写真を募集します！

三島市議会では、市民の皆さまに議会の活動をお知らせするため、年4回(5/1号・8/1号・11/1号・2/1号)議会だよりを発行しています。令和5年度は、より市民の皆さまに議会を身近に感じていただけるよう、表紙写真を募集いたします。下記の応募要項をご確認のうえ、ぜひご応募ください！

テーマ **私がみつけた三島の魅力**

三島のまちがますます好きになる写真を募集します。自然の風景や街中の写真でもOKです。

- 応募資格** 三島市在住または三島市内に通勤・通学されている方。
- 応募規定** 応募者(撮影者)本人に著作権があり、未発表のもの。
※応募は1人**3点**まで。応募者1人につき1点までの採用となります。
- 応募方法** 以下のいずれかの方法で応募してください。

①電子申請：右記のQRコード、または市のホームページから応募フォームにアクセスし、必要事項をご記入のうえ、**JPEG形式(5MB以内)**の写真データを登録してください。



②郵送：氏名・電話番号・写真タイトル等の必要事項を応募用紙*に記入し、写真店などでプリントした**L版横構図**の写真を三島市議会事務局へ直接持参、または郵送してください。
*応募用紙は、市議会ホームページからダウンロードしてください。
(郵送先) 〒411-8666 三島市北田町4-47 三島市議会事務局 宛

- 応募上の注意事項**
 - 人物が明らかに特定できる写真の場合は、必ずご本人様の了承を得てから応募してください。
 - 編集上、トリミング加工やキャッチコピー、キャプションの挿入等を行う場合があります。
 - 応募作品は原則としてお返しできません。
 - 採用作品の著作権は応募者本人に帰属します。

※その他詳細は、市議会ホームページに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。



締一切 ・令和5年3月1日まで